



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 79,200円 外電配付料 12か月 92,400円
 6か月 39,600円 6か月 46,200円

秋季国際非鉄研究会 参加・報告①

銅 24年「467千tの供給過剰」

JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（高原一郎理事長）はこのほど、2023年秋季国際非鉄研究会（INSG、ICSG、ILZSG）の参加報告を公表した。ポルトガル・リスボンで10月2日～6日に開催。ニッケル、銅、鉛・亜鉛の各研究会のほか需給予測の議論、非鉄研究会事務局やゲストスピーカーによる講演なども行われた。報告は、ロンドン事務所の平田哲人、南川亜美の両氏。主な内容は次の通り（一部省略）。

1. 需給予測

1.1. ニッケル：2024年は239千tの供給過剰（表1）

・歴史的にニッケルの供給過剰はLMEのデリバブル/クラスIニッケルとリンクしてきたが、2023年及び2024年の供給過剰の原因は主にクラスIIニッケルとニッケル化学物質（主に硫酸ニッケル）である。

・供給面では、一次ニッケル生産量は、2023年の3.417百万tから2024年は3.713百万tに増加すると予測。インドネシアではニッケル銑鉄（NPI）生産が引き続き増加し（中国は2024年も引き続き減少）、新たなニッケル・コバルト混合水酸化物（MHP）を生産するHPAL（高圧酸浸出）プラント生産増加に伴い、NPIニッケルマットへの転換もさらに拡大。

・需要面では、一次ニッケル消費量は、2023年の3.195百万tから2024年は3.474百万tに増加。ステンレス部門は2023年下半年に回復、2024年にはEV（電気自動車）バッテリー向けにさらに増加。

表1. 世界のニッケル需給バランス（2023～2024年）（単位：百万t）

	2023年予測	前年比	2024年予測	前年比
一次ニッケル生産	3.417	11.7%	3.713	8.7%
一次ニッケル消費	3.195	8.1%	3.474	8.7%
需給バランス	0.222		0.239	

出典：INSG会議資料より JOGMEC 作成

1.2. 銅：2023年は27千tの供給不足、2024年は467千tの供給過剰（表2、表3）

・2023年は27千tの供給不足、2024年は467千tの供給過剰と予測。

・供給面では、銅鉱石生産量は、2023年は対前年比1.9%増、2024年は同3.7%増と予測。2023年は主に

DRコンゴ、ペルー、チリでの新鉱山開発・拡張による生産増加が見込まれ、2024年には新規・拡張鉱山による追加生産に加え、2023年に操業制限を受けたチリ、中国、インドネシア、パナマ、米国などの生産率が改善する見通し。

・銅地金生産量は、2023年は対前年比3.8%増、2024年は同4.6%増と予測。主に中国における電解生産能力の継続的拡大やインドネシア、インド、米国での製錬所の新設・拡張にけん引されると見込まれる。

・需要面では、銅地金消費量は、2023年は対前年比2%増、2024年は同2.7%増と予測。様々な国で進行中のエネルギートランジションや、新たな半導体生産能力の開発が需要の後押しとなるほか、主要国におけるインフラ開発、クリーンエネルギー、EVへの移行傾向が長期的な需要を支えると考えられている。

表2. 世界の銅需給バランス（2022～2024年）（単位：千t）

	2022年	前年比	2023年予測	前年比	2024年予測	前年比
銅鉱石生産	21,941	3.0%	22,360	1.9%	23,195	3.7%
銅地金生産（供給）	25,374	1.7%	26,329	3.8%	27,534	4.6%
銅地金消費（需要）	25,835	2.5%	26,357	2.0%	27,066	2.7%
需給バランス	-461		-28		468	

出典：ICSG会議資料より JOGMEC 作成

表3. 世界の地域別生産・消費（2022～2024年）（単位：千t）

地域/年	鉱石生産			地金生産			地金消費		
	2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
アフリカ	3,274	3,436	3,683	2,183	2,292	2,484	177	184	192
北米	2,534	2,418	2,590	1,649	1,603	690	2,267	2,227	2,264
中南米	8,556	8,975	9,376	2,580	2,383	2,361	384	384	392
ASEAN 10 か国	1,078	1,065	1,104	494	461	631	1,182	1,183	1,264
CIS 諸国	945	969	1,021	515	505	524	107	106	107
ASEAN-CIS 以外 アジア	2,649	2,689	2,938	13,825	14,857	15,742	17,770	18,362	18,845
EU	782	762	759	2,571	2,507	2,505	3,098	3,039	3,101
EU 以外欧州	1,229	1,242	1,431	1,156	1,305	1,376	845	866	897
オセアニア	895	915	935	401	437	465	5	5	5

出典：ICSG会議資料より JOGMEC 作成

(次頁へつづく)

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp

QRコード

木村金属株式会社
 Kimura **06-6552-7840**

大阪市大正区

1.3. 鉛：2024年は52千tの供給過剰（表4：出展はICSG会議資料よりJOGMEC作成）

・供給面では、2024年の鉛鉱石生産量は、対前年比2.9%増の4.71百万tと予測。主に豪州における豪Galena Mining社のAbra鉱山において95千t/年の操業成功による大幅な増加が引き続き見込まれ、2023年11月より英Adriatic Metals社による新たなVeres鉱山の操業が予定されているボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、インド、ロシアにおいてもさらなる増加が見込まれる。

・2024年の鉛地金生産量は、対前年比2.3%増の13.14百万tと予測。注目すべき要因としてシンガポールTrafigura社の独Stolberg製錬所が2021年の洪水被害による閉鎖から再開したことである。このほか、台湾、UAEにおいても新規生産開始により増加が見込まれる。一方、ブルガリア、イタリア、韓国では減少が見込まれる。

・需要面では、2024年の鉛地金消費量は、対前年比2.2%増の13.08百万tと予測。欧州では2023年3.7%増の見込みであるほか、インド、メキシコ、台湾、ベトナムでも増加が見込まれる。2024年にはインド、日本、韓国で需要が増加するとみられる。

表4. 世界の鉛需給バランス（2024年）（単位：百万t）

	2024年予測	前年比
鉛鉱石生産	4.71	2.9%
鉛地金生産(供給)	13.14	2.3%
鉛地金消費(需要)	13.08	2.2%
需給バランス	0.06	

1.4. 亜鉛：2024年は367千tの供給過剰（表5：出展はICSG会議資料よりJOGMEC作成）

・供給面では、亜鉛鉱石生産量は、2023年前年度比0.1%増の12.43百万tとなり、2024年は同3.9%増の12.91百万tと予測。豪州、ロシアでの大幅な増加が主要因であるほか、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブラジ

非鉄金属全般・金属リサイクル
新棒コロ・砲金・銅滓

株式会社 高田商店

代表取締役 高田晋善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

TEL06-6753-1643 Fax06-6753-4545

ル、中国、メキシコにて生産増が見込まれる。一方、操業停止の影響で、アイルランドのTara鉱山で130千t/年、ポルトガルのAljustrel鉱山で110千t/年の生産能力の減少が見込まれている。

・亜鉛地金生産量は、2023年対前年比3.7%増となり、2024年は同3.3%増の14.30百万tと予測。主に、中国において2023年と2024年にそれぞれ6.7%と4.1%と大幅な増加が見込まれるほか、豪州と、Odda製錬所の拡張工事が2023年下半年に完了する予定であるノルウェーにおいても増加が見込まれる。

・需要面では、亜鉛地金の消費量は、2023年1.1%増の13,59百万tとなり、2024年は2.5%増の13.93百万tと予測。中国では2023年3%増、2024年は1.2%の増加が見込まれる。欧州、インド、日本、韓国、米国、ベトナムで増加の見込みである。

表5. 世界の亜鉛需給バランス（2023～2024年）（単位：百万t）

	2024年予測	前年比
亜鉛鉱石生産	12.91	3.9%
亜鉛地金生産(供給)	14.30	3.3%
亜鉛地金消費(需要)	13.93	2.5%
需給バランス	0.37	

2. 主な講演等の概要

2.1. INSG

○OECD（責任ある鉱物サプライチェーンのためのデュー・ディリジェンスガイドライン）

・OECDは、ガイドライン“Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High-Risk Areas”を、鉱物サプライチェーンへの責任ある投資を促進することを目的とし紹介した。米Dodd Frank Actに基づくこのガイダンスは、OECD加盟国だけでなく、DRC等の非OECD加盟国も対象で、企業におけるリスク評価（紛争資金、人権侵害、経済犯罪との潜在的関連性）の優先順位付けを支援し、鉱物生産国の持続可能な発展への貢献支援を目指す。具体的にはサプライチェーンにおける実践的フレームワークの提供である。

・企業はリスクフリーのサプライチェーンを維持しようとするのではなく、サプライチェーンにおける高リスク箇所を特定し、地元政府及び社会を巻き込みサプライヤーと協力することでリスクを軽減することが求められている。（次号へつづく）



非鉄金属全般

岡田商店

代表 岡田兼典

580-0046

大阪府松原市三宅中4-20-14

電話：072（289）8936（代）

ファックス：072（289）8937

民生用電子機器国内出荷2月分 出荷額前年比 12か月連続マイナス JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会（小島啓二会長）はこのほど、民生用電子機器国内出荷の2月実績を発表した。国内出荷金額は782億円、前年比76.9%。同比ポイントは、23年2月に3か月ぶりのプラスとなったが、同3月から12か月連続でマイナスが続いている。全体のうち、映像機器は362億円、同99.0%、オーディオ関連機器は46億円、同99.1%、カーAVC機器は373億円、同61.8%となっている。

製品別動向は次の通り。

薄型テレビは348千台、同100.5%。サイズ別では、29型以下が39千台96.4%、30～39型が84千台93.1%、40～49型95千台97.3%、50型以上130千台110.3%。サイズ別構成比は、29型以下11.1%、30～39型24.2%、40～49型27.4%、50型以上37.3%だった。

4K（対応）テレビは167千台99.1%、薄型テレビに占める割合は47.9%。出荷金額は234億円、薄型の298億円に占める割合は78.4%だった。

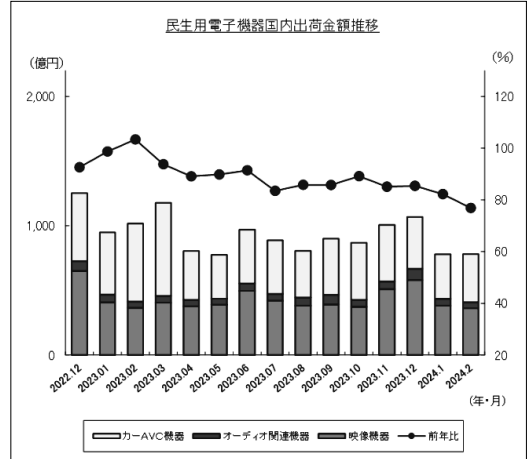
ハイブリッドキャスト対応テレビは195千台98.7%、薄型テレビに占める割合は56.2%。有機ELテレビは35千台93.0%、74億円だった。

新4K8K衛星放送対応テレビは183千台、238億円となり、数量は薄型の52.7%、金額は薄型の79.9%となった。発売開始からの累計は13,855千台。

BDレコーダ/プレーヤは79千台89.2%。新4K8K衛星放送対応レコーダは14千台、11億円。発売開始からの累計は1,896千台となった。

システムオーディオは59千台92.1%、スピーカシステムは33千台74.9%、ラジオ受信機は56千台117.9%。ステレオヘッドホンは263千台83.4%となった。

また、カーナビゲーションシステムは245千台59.7%、カーAVメインユニットは87千台36.9%、ETC2.0（DSRC）対応車載ユニットは173千台102.0%となっている。



民生用電子機器国内出荷金額推移

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入
——ご照会をう。——

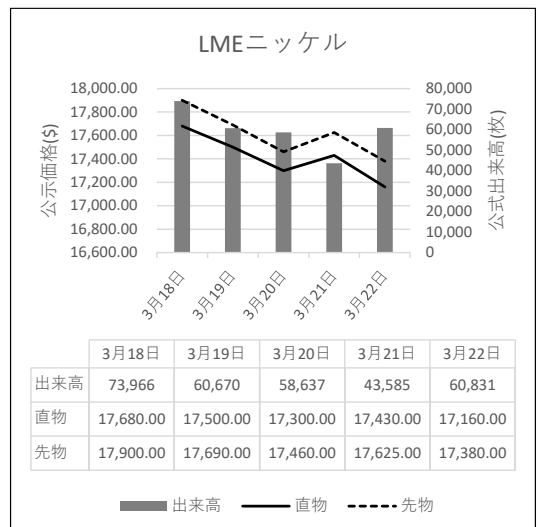
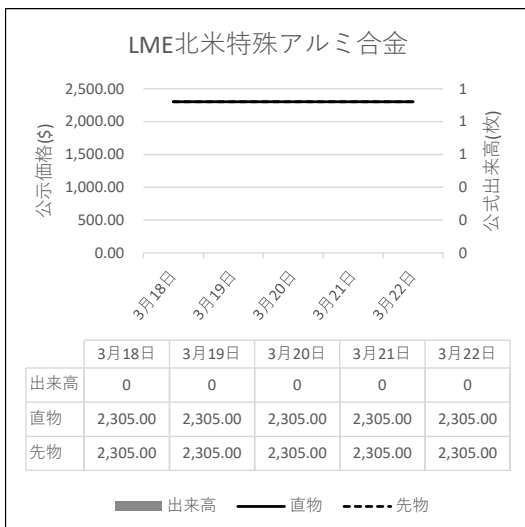
森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

LME公式値週間推移 3月18日～3月22日(現地)



故銅市況

28日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,764.00ドルより68.00ドル安の8,696.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,748.47ドルより4.08ドル安の8,744.39ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,880.00ドルより74.00ドル安の8,806.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,862.00ドルより12.50ドル安の8,849.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の400.85セントより0.85セント安の400.00セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の5月限は、前営業日の7万2,140元より70元安の7万2,070元。

28日の東京為替市場TTSレートは、前日の152.57円より0.05円の円高ドル安、1ドル=152.52円。28日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,696.00ドル。この値と28日の東京外国為替市場USドルTTS

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(3月26日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1190~1195、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1155~1160、並銅は1120~1130、込銅（高品位=約97%）は1110、セパは783~788。コーペルは要り用筋で724、それ以外は709ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋734、それ以外704~714どころの値頃。並青銅鋳物削粉は980~985どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1170~1190、上銅新くずが1135~1155、普通上銅が1110~1130、2号銅線が1102~1122、並銅が1100~1120、込銅(94-97%)が1048、込銅(90-93%)が1050、下銅が625~675、セパが748~783、コーペルが664~709、黄銅棒地が659~704、黄銅削粉が654~699、黄銅ラジが619~627、交叉ラジが654~711、黄銅銅鋳物が619~626、送りが372~391、上青銅鋳物が977~997、並青銅鋳物が957~972、上青銅鋳物削粉が972~992、並青銅鋳物削粉が947~967どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (3月後半)

2S=198円~219円、63S=183円~234円、アルミホイール(1P)=200円~214円、ビス付サッシ=141円~150円、エンジンコロ=139円~151円、込合金(機械鋳物)=142円~150円、缶プレス(ソフト)=136円~148円。

関西地区 (3月後半)

2S=222円 ~224円、63S=215円 ~249円、印刷版=210円~212円、アルミホイール(1P)=205円~246円、ベースメタル=220円~231円、機械鋳物=135円~139円、ダライ粉=157円~160円、ビス付サッシ=140円~165円、缶プレス=148円~153円。

レートから計算した国内採算値は、前日の137万5,000円より1万1,000円安の136万4,000円。この日、電気銅建値は137万円に据え置かれた。

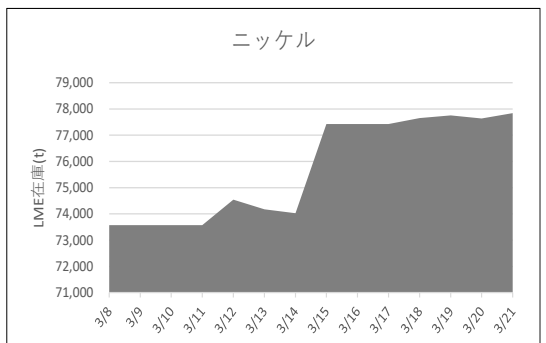
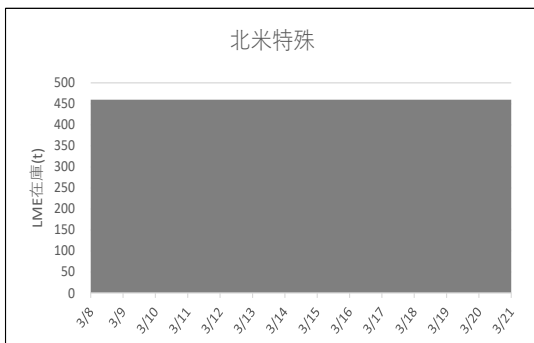
為替動向

27日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで小幅ながら下落。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0810ドル~1.0820ドルで推移した。イースターの連休を前に持ち高調整の小幅な取引が中心だった。

27日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ0.25円の円高ドル安、1ドル=151.25円~151.35円で取引を終えた。円は東京市場の取引時間帯に151.97円と1990年7月以来の安値を付けた。円安が進むなか、財務省、金融庁、日銀が三者会合を開いたことから為替介入への警戒感が強まり円相場を下支えた。米国の長期金利低下もあり円買いドル売りが優勢になった。

28日早朝の東京外国為替市場でも円相場は上昇した。8時30分、前日17時と比べ0.36円の円高ドル安、1ドル=151.34円~151.35円で推移した。日本政府・日銀による為替介入への警戒感を背景に円買いドル売りが優勢になっていた。前日の円相場では凡そ34年ぶりの安値、151.97円を付けており日本の通貨当局は円安牽制の口先介入を強めていた。円は対ユーロでも上昇。8時30分、前日17時と比べ0.65円の円高ユーロ安、1ユーロ=163.60円~163.63円で推移した。

LME認定倉庫在庫量推移 3月8日~3月21日(現地)





LME銅相場は反落 直物終値は8,744.39ドル
COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場も続落
LME非鉄相場は総じて軟調 直物終値は亜鉛2,392.43ドル、アルミ2,251.77ドル



28日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、3月27日入電の8,764.00ドルより68.00ドル安の8,696.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.78%安。この週2.36%の下落。3月に入って3.66%の上伸。3か月物の前場売値は、3月27日入電の8,880.00ドルより74.00ドル安の8,806.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.83%安。この週2.30%の下落。3月に入って3.91%の上伸。

LME公認倉庫の現地3月26日銅在庫は、前日の11万7,400トンより4,300トン減の11万3,100トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、4月限が、3月27日入電の399.95セントより0.70セント安の399.25セント。2営業日の続落で0.36%安。この週2.92%の下落。3月に入って4.12%の上伸。中心限月に当たる5月限は、3月27日入電の400.85セントより0.85セント安の400.00セント。2営業日の続落で0.21%安。この週2.81%の下落。3月に入って4.14%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、4月限が、3月27日入電の7万1,990元より70元安の7万1,920元。4営業日の続落で1.28%安。この週0.15%の下落。3月に入って4.63%の上伸。中心限月に当たる5月限は、3月27日入電の7万2,140元より70元安の7万2,070元。4営業日の続落で1.10%安。この週0.40%の下落。3月に入って4.77%の上伸。

錫は続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、3月27日入電の2万7,410.00ドルより55.00ドル安の2万7,355.00ドル。4営業日の続落で1.25%安。この週3.71%の下落。3月に入って3.72%の上伸。3か月物の前場売値は、3月27日入電の2万7,500.00ドルより125.00ドル安の2万7,375.00ドル。4営業日の続落で1.53%安。この週4.12%の下落。3月に入って3.19%の上伸。

LME公認倉庫の現地3月26日錫在庫は、前日の4,775トンより100トン減の4,675トン。

鉛も続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、3月27日入電の1,982.50ドルより14.50ドル安の1,968.00ドル。4営業日の続落で3.10%安。この週6.60%の下落。3月に入って4.79%の下落。3か月物の前場売値は、3月27日入電の2,028.00ドルより23.00ドル安の2,005.00ドル。4営業日の続落で3.28%安。この週5.34%の下落。3月に入って2.95%の下落。

LME公認倉庫の現地3月26日鉛在庫は、前日の26万7,850トンよりトン減の26万7,850トン。

亜鉛も続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、3月27日入電の2,425.00ドルより59.00ドル安の2,366.00ドル。4営業日の続落で5.40%安。この週6.26%の下落。3月に入って0.67%の下落。3か月物の前場売値は、3月27日入電の2,471.00ドルより55.00ドル安の2,416.00ドル。4営業日の続落で5.14%安。この週5.92%の下落。3月に入って0.25%の下落。

LME公認倉庫の現地3月26日亜鉛在庫は、前日の26万6,000トンより2,450トン減の26万3,550トン。

アルミは反落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、3月27日入電の2,275.50ドルより37.50ドル安の2,238.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.65%安。この週0.88%の上伸。3月に入って3.47%の上伸。3か月物の前場売値は、3月27日入電の2,324.50ドルより37.50ドル安の2,287.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.61%安。この週0.68%の上伸。3月に入って3.62%の上伸。

LME公認倉庫の現地3月26日アルミ在庫は、前日の55万5,775トンより万750トン増の55万6,525トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、3月27日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、3月27日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、3月27日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、3月27日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、3月27日入電の1万6,565.00ドルより235.00ドル安の1万6,330.00ドル。4営業日の続落で6.31%安。この週9.28%の下落。3月に入って6.34%の下落。3か月物の前場売値は、3月27日入電の1万6,795.00ドルより235.00ドル安の1万6,560.00ドル。4営業日の続落で6.04%安。この週9.75%の下落。3月に入って6.57%の下落。

LME公認倉庫の現地3月26日ニッケル在庫は、前日の7万7,076トンより240トン減の7万6,836トン。

LME公示価格(US\$)／3月27日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,696.00	27,355.00	1,968.00	2,366.00	2,238.00	1,820.00	2,305.00	16,330.00
	前営業日比	▲ 68.00	▲ 55.00	▲ 14.50	▲ 59.00	▲ 37.50	0.00	0.00	▲ 235.00
先物	公示価格	8,806.00	27,375.00	2,005.00	2,416.00	2,287.00	1,820.00	2,305.00	16,560.00
	前営業日比	▲ 74.00	▲ 125.00	▲ 23.00	▲ 55.00	▲ 37.50	0.00	0.00	▲ 235.00

海外非鉄金属相場

(3月28日 入電・現地 3月27日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅 AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫 HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛 SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, ブラチナ, パラジウム. Rows: NY COMEX相場, 出来高, 4月限, 5月限, 6月限, 7月限, 8月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

Table with columns: 米国生産者価格(地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場(ドル), 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレンウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: K L T M 錫 (MYR/KG, 出来高トン), (27日), (28日), 相場, 出来高, ドル建て価格, O Dレート, M \$ / U S \$ レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME在庫(トン), 在庫, 増減, (3/26現在), 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫(トン), 在庫, 増減, (3/22現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LMEプレマーケット(ドル), 先物気配, (3/28), (3:00AM現地), 銅, アルミ, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場, トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

※28日のKLTMは休場です

非鉄金属製品相場

(3月28日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1720	1680	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F	
建築用0.3ミリ	1770	1730	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	64~66
銅大板2×1×2	1850	1880	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	113~115
銅管(ベース)	1790	1880	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	118~120
水道用管(m当たり)13ミリ	1700	1790	鉛線3ミリ	440	440	3C×2.0	166~169
銅棒25ミリ	1630	1650	糖圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1685	1695	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	34.4~36.6
銅線0.9ミリ	1710	1710	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	94.6~101
銅帯6×50	1590	1650	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	236~250
銅平角線	1910	1870	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1390	1365	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1801~1915
〃 0.3ミリ	1420	1395	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2782~2957
黄銅大板2×1×2	1540	1545	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4667~4961
黄銅管	1960	1845	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2913~3085
復水器用黄銅管	1930	1815	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4090~4332
黄銅棒快削25ミリ	1125	1130	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	1155	1160	貴金属(一般小口向け)			3C×2	137~140
四角棒	1185	1190	白金(グラム)	◆ 4900		4C×2	184~189
鍛造用	1165	1170	パラジウム(グラム)	◆ 5489		6C×2	262~268
ネーバル	1265	1270	金(グラム)	◎ 11773		7C×2	300~307
高力	1265	1270	銀(キログラム)	◎ 134200		合金鉄 1月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1575	1545	レアメタル輸入価格 1月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	150
黄銅平角線ロール仕上	1775	1755	金属ケイ素(99.99%未満)	341		〃 その他	194.2
黄銅条1.5×100	1385	1380	モリブデン酸化物	4462		フェロシリコン55%以上	236
リン青銅板一般用1.0ミリ	3040	3230	タンタル	80651		フェロクロム4%以上炭素含有	247
〃 パネ用0.3ミリ	3290	3490	マグネシウム	430		フェロモリブデン純分60%以上	4353
リン青銅棒25ミリ	3140	3350	コバルト	5083		フェロバナジウム	2924
リン青銅線3ミリ	3530	3740	インジウム	30368		フェロニッケル33%未満	575.4
洋白板一般用1.0ミリ	3720	3870				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 パネ用1.0ミリ	3850	4020					

減摩合金	3月18日改定	銅合金地金	3月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5000	BC 1種	1310
2種	4865	2種	1630
3種	4725	3種	1710
4種	4205	6種	1435
5種	3930	7種	1530
7種	1580	YBSC 3種	1150
8種	1410	LBC 3種	1635
9種	1225	PBC 2種	1735



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1370(26) 金 10,697(28)
 () 実施日 電気鉛 369(25) 銀 121,600(28)
 電気亜鉛 439(26) 錫(99.99%) 5,650(18)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (3月28日調べ) インジウム大ロ~小ロ(99.99%) 41,000 ~ 46,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	
1 号 銅 線	1212	1205	電 気 銅 ◎	1335	1332	
2 号 銅 線	1170	—	電 気 亜 鉛	411	405	
上 銅 (新 切)	1183	1173	蒸 留 亜 鉛	399	393	
雑 ナ ゲ ッ ト	1040	1039	再生ダイカスト亜鉛2種	342	336	
並 銅	1125	1107	再 生 亜 鉛 (98%)	298	292	
下 銅	1106	1080	電 気 鉛	344	341	
銅 削 粉	1086	1080	再 生 鉛 1 号	327	317	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	332	328	
新 切 黄 銅 セ バ	888	899	錫 1 号	4400	4350	
コ ー ベ ル	852	855	ア ン チ モ ン	2100	2050	
黄 銅 棒 地	830	843	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◆2600	◆2550	
黄 銅 削 粉	824	838	コ バ ル ト	5300	5000	
並 黄 銅	830	780	セ レ ニ ウ ム	3800	3600	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	688	671	ビ ス マ ス	1500	1400	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	778	731	カ ド ミ ウ ム	750	700	
黄 銅 鋳 物	835	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	475	455	
山 送 り (55%)	460	—	アルミ地金 99.70 %	386	382	
上 青 銅 鋳 物	962	—	アルミ二次地金 99 %	328	323	
並 青 銅 鋳 物	960	948	〃 90 %	303	298	
上 青 銅 鋳 物 削 粉	955	—	アルミ二次合金ADC12	415	410	
並 青 銅 鋳 物 削 粉	945	932	鋳 物 用 C2BS	440	435	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1206	青 銅 合 金 地 金 3 種	1670	1660	
〃 (鋳 物)	1076	—	〃 6種	1405	1395	
リ ン 青 銅 削 粉	994	986	ハ ン ダ 錫 60 %	3365	3325	
新 切 洋 白 (電 子 材)	1006	993	〃 50 %	2925	2875	
新 切 亜 鉛	260	260	〃 40 %	2545	2485	
ダ イ カ ス ト く ず	173	173	減 摩 合 金 2 種	4770	4740	
亜 鉛 ド ロ ス	153	163	〃 4 種	4110	4085	
上 鉛	200	198	〃 7 種	1485	1435	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	70	70	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切	70	75
活 字 鉛	179	176	〃	ダライ粉	55	60
新 切 ア ル ミ 1 級	247	253	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316	225	225	
新 切 サ ッ シ 1 級	249	251	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310	290	290	
新 切 合 金 1 級	241	236	13クローム 新切	30	31	
機 械 鋳 物 1 級	208	221	ハ イ ス 9種	180	180	
ピ ス 付 サ ッ シ P	222	222				
合 金 削 粉 P	173	166				
込 ガ ラ P	136	137				
カ ン ・ バ ラ	171	161				



非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202403